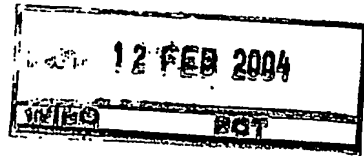


特 許 協 力 条 約

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT36条及びPCT規則70]



出願人又は代理人 の書類記号 PCT-006	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP02/12492	国際出願日 (日.月.年) 28.11.2002	優先日 (日.月.年)
国際特許分類(IPC) Int. Cl. D05C 15/22, 15/24		
出願人(氏名又は名称) 堀田 国男		

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。

2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。

☒ この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。
(PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)
この附属書類は、全部で 1 ページである。

3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

I ☒ 国際予備審査報告の基礎

II ☐ 優先権

III ☐ 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成

IV ☐ 発明の単一性の欠如

V ☒ PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明

VI ☐ ある種の引用文献

VII ☐ 国際出願の不備

VIII ☐ 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 29.10.2003	国際予備審査報告を作成した日 26.01.2004	
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 西山 真二	3B 9536
電話番号 03-3581-1101 内線 3320		

I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に
 応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。
 PCT規則70.16, 70.17)

☐ 出願時の国際出願書類

- ☒ 明細書 第 1-9 ページ、 出願時に提出されたもの
 明細書 第 _____ ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
 明細書 第 _____ ページ、 _____ 付の書簡と共に提出されたもの
- ☒ 請求の範囲 第 _____ 項、 出願時に提出されたもの
 請求の範囲 第 _____ 項、 PCT19条の規定に基づき補正されたもの
 請求の範囲 第 1-3, 6 項、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
 請求の範囲 第 5 項、 18.12.2003 付の書簡と共に提出されたもの
- ☒ 図面 第 1-12 ~~ページ~~図、 出願時に提出されたもの
 図面 第 _____ ページ/図、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
 図面 第 _____ ページ/図、 _____ 付の書簡と共に提出されたもの
- ☐ 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、 出願時に提出されたもの
 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、 国際予備審査の請求書と共に提出されたもの
 明細書の配列表の部分 第 _____ ページ、 _____ 付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である _____ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語
☐ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
☒ 請求の範囲 第 4 項
☐ 図面 図面の第 _____ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)

請求の範囲 1-3, 5, 6

有

請求の範囲

無

進歩性(IS)

請求の範囲 1-3, 5, 6

有

請求の範囲

無

産業上の利用可能性(IA)

請求の範囲 1-3, 5, 6

有

請求の範囲

無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: US 1993862 A (Waite Carpet Company), 1935. 03. 12

文献2: CH 173037 A (Max BRUNNER), 1934. 11. 15

文献3: US 2961983 A (James Lees and Sons Company), 1960. 11. 29

文献4: US 4549496 A (Fabrication Center, Inc.), 1985. 10. 29

文献5: US 1993862 A (Waite Carpet Company), 1935. 03. 12

文献6: JP 2001-200465 A (ブラザー工業株式会社), 2001. 07. 27

文献7: JP 10-113492 A (ヤマトマシン製造株式会社), 1998. 05. 06

文献8: JP 7-144081 A (ブラザー工業株式会社), 1995. 06. 06

文献9: US 3771478 A (Union Special Corporation), 1973. 11. 13

請求の範囲 1-3, 5, 6

請求の範囲 1-3, 5, 6は、文献1-9に対して進歩性を有する。釜軸に取り付けられ釜刃を有する釜体と、切断刃を有する昇降刃とが揺動接触するような植毛機及び鋏は、いずれの文献にも記載されていない。

請 求 の 範 囲

1. 基布の上下面を貫通して昇降する針であって針孔を有する針と、前記針の上下動に対応して回転する釜軸と、前記釜軸に取り付けた釜体であって釜刃を有する釜体と、切断刃を有する昇降刃とを設け、所定の位置において前記釜刃と前記切断刃とが摺動接触するように構成したことを特徴とする植毛機。
5
2. 請求の範囲 1 に記載した植毛機であって、釜軸に取り付けた偏心カム又は前記釜軸に同期して回転するカム軸に取り付けた偏心カム、のいずれかの偏心カムによって、昇降刃が昇降するように構成したことを特徴とする植毛機。
10
3. 請求の範囲 1 又は請求の範囲 2 のいずれかに記載した植毛機であって、釜軸に回転翼体を取り付けたことを特徴とする植毛機。
4. (削除)
5. (補正後) 釜腕を有する釜体であって、前記釜腕は尖頭状の剣先と釜刃とを有することを特徴とする前記釜体と、偏心カムと、切断刃を有する昇降刃であって前記偏心カムにより揺動する前記昇降刃とを有する鋏であって、所定の位置において前記釜体の釜刃と前記切断刃とが摺動接触するように構成したことを特徴とする鋏。
15
6. 釜軸と請求の範囲 5 に記載した鋏を有する植毛機であって、前記釜軸に前記鋏の釜体を取り付け、さらに、前記釜軸に回転翼体を取り付けたことを特徴とする植毛機。
20